令和 7 年度　通常総会

議　事　録(正)

令和 7 年 5 月 30 日(金)

公益社団法人　劇場演出空間技術協会

1. 日　時　　令和 7 年 5 月 30 日(金)　　14 時 00 分開会
　　15 時 21 分閉会

2. 場　所　　東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2
　　エッサム神田ホール 1 号館 3 階 大会議室 301

3. 構成員現在数　　正会員 50 名

4. 出席構成員数

構成員	:50 名
本人出席	:11 名
WEB 出席者	: 1 名
欠席で議決権行使者	:30 名
欠席で委任状提出者	: 0 名
出席者合計	:42 名
構成員の過半数	:25 名
出席者の過半数	:21 名
出席者の 3 分の 2 以上	:28 名

出席者名 12 名
伊東正示、西村岩夫、清水康裕、市瀬守、西奈美博、横井裕、小川幹雄、黒田英己、中川堅司、
西豊彦、間瀬勝一(Web 出席)、湯澤薫

欠席者(議決権行使) 30 名
森健輔、平田恭佐、筒芳成、畑中祐介、斎藤正樹、下出義一、池田健、橋田伸俊、勝又康浩、
松村秀一、春日利之、中村寛之、長谷川祥久、兒玉謙一郎、境静也、大松敦、佐野吉彦、
青池佳子、伊東(市来)邦比古、伊藤久幸、内田匡哉、大野頌、勝又英明、桂川潤次郎、木村博行、
浪花克治、平井哲史、古橋祐、星乃もと子、山下修二
欠席者(委任状提出) 0 名
欠席者(権利行使なし) 0 名
欠席者(文書未到着) 8 名
西尾榮男、鈴木教久、梅澤隆、能勢修治、千葉英雄、山口英峰、木下素直、吉井澄雄

5. その他出席者及び欠席者
尾澤輝行(監事・非会員)
出席部会長:西村智司教育研修部会長、役野善道照明部会長、小塩英彦機構部会長、

戸田直人建築部会長、川上二郎映像副部会長、結城芳弘音響部会長
欠席部会長：平井哲史映像部会長、古橋祐広報部会長

6. 議事次第

1）開会
2）議長選出
3）議事録署名人選出
4）審議事項
第 1 号議案　令和 6 年度事業報告承認の件
第 2 号議案　令和 6 年度収支決算報告承認の件
5）報告事項
第 1 号報告　令和 7 年度事業計画報告の件
第 2 号報告　令和 7 年度収支予算報告の件
6）会長挨拶
7）閉会

7. 議事の経過

1）開会

定刻 14 時 00 分開会、中川事務局長より
開会の時点において、WEB 出席を含む出席者数 12 名、議決権行使者 30 名、委任状提出者 0 名、合計 42 名の出席者数を確保し、過半数の 25 名以上の出席を確認し、社員総会の成立要件が満たされたことを事務局長が宣言し、開会した。社員総会運営規則第 27 条（議長の裁決権）に可否同数の時は、議長の裁決するところによる。第 26 条の決議にあたり、議長は社員として決議に加わることはできないと定めているので、出席者合計 42 名から議長1名を抜いた 41 名が、議決権を行使する出席者合計となる。
また、本日は尾澤監事に出席いただいている。間瀬監事は Web にて出席されている。
以上により、本日の総会の成立を宣言する。
また、議事進行の助手として事務局員が同席していること、同じく事務局員が記録として、会場の状況並びに発言者の写真撮影を行うことについて了解を求められた。

2）議長選出

定款第 18 条（議長）の規定により、伊東正示会長を議長に選出。

3）議事録署名人選出

定款第 24 条（議事録）第 2 項の規定に従い、横井裕氏及び湯澤薫氏を議事録署名人として選出、両氏はこれを受諾。

4）審議事項

議長より以下の説明があった。
この協会は、内閣府の審査を受け、公益社団法人として認可されており、毎年内閣府に、事業報

告決算報告、予算、計画を提出し、公益活動をしている。
従って、優先順位は、内閣府の指導、総会決議、理事会決議の順位となる。
尚、本日の総会の議案は、定款第 15 条(権限)第 2 項では個々の社員総会においては、第 17 条第 3 項の書面に記載した社員総会の目的である事項以外の事項は、決議することができない。
定款第 17 条(招集)第 3 項では、社員総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的記録により、開催日の 2 週間前までに通知しなければならない。
と規定されており、総会議案書の議事次第に書かれている議案以外は、審議の対象にならない。
また、定款第 28 条　理事の(職務)第 5 項において会長、副会長、専務理事、及び業務担当執行理事は、事業年度毎に 4 箇月を超える間隔で 2 回以上、自己の業務の執行状況を理事会に報告する。と規定されている。
総会の各事業報告、事業計画は、理事会と同様に担当執行理事が行い、部会報告などについてはそれぞれ各部会の部会長に報告してもらう。
(事業計画及び収支予算)については、定款第 51 条　本会の事業計画書及び収支予算書等(事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類)は、毎事業年度の開始の前日までに会長が作成し、理事会の決議を経て、社員総会に報告するものとする。
同様に(事業報告及び収支決算)については、定款第 52 条　本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの付属明細書、財産目録を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経た上で、社員総会において承認を得るものとする。と、規定されている。
会長としては議長の責務があるので、代理で事務局長、業務担当執行理事、部会長から報告をする。
本日は、円滑な総会進行を心掛け、無事時間内に終了できるよう、会員のご協力を御願いする。
本日上程した議案書に掲載している第1号議案より第 2 号議案、並びに第 1 号報告より第 2 号報告については、2 月 28 日開催の第 73 回定例理事会および 4 月 22 日開催の第 74 回定例理事会において審議の上、承認を得ている。

＜第 1 号議案　令和 6 年度事業報告承認の件＞
添付の通常総会議案書に基づき、第1号議案令和 6 年度事業報告承認の件について中川事務局長、業務担当執行理事及び各部会長から活動内容の報告があった。
1. 会議　1)総会　2)理事会　3)委員会　(1)事業執行連絡委員会について中川事務局長より報告があった。
2. JATET 部会報告は、各担当部会長より報告があった。
1)教育研修部会　　西村 智司 部会長
2)建築部会　　戸田 直人 部会長
3)機構部会　　小塩 英彦 部会長
4)照明部会　　役野 善道 部会長
5)音響部会　　結城 芳弘 部会長

6)映像部会　　平井 哲史 部会長欠席 代理 川上二郎副部会長
7)広報部会　　古橋 祐　部会長欠席 代理 中川事務局長
3. JATET フォーラム 2024/25 セミナーについて西村副会長より報告があった。
4. InterBEE2024 出展、5. JATET 誌、6.JATET ジャーナル 7.JATET ニュースについては中川事務局長より報告があった。
以上の報告があった後、議長が本件についての意見、質問がないことを確認し挙手により賛否を諮った結果、議長を除き賛成 41 名、反対 0 名で原案通り承認された。

＜第 2 号議案　令和 6 年度収支決算報告承認の件＞
添付の通常総会議案書に基づき、第 2 号議案 令和 6 年度収支決算報告承認の件について中川事務局長より説明があり、尾澤監事、間瀬監事による監査を受け
(1) 計算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録)は、当法人の財政状態及び損益状況を正しく示しているものと認める。
(2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
(3) 理事の業務執行には、法令もしくは、定款に違反する重大な事実はないと認める。
という監査報告書を受領しているとの報告があった。

尾澤監事・間瀬監事より報告:監査報告として 3 点について、中川事務局長からの報告で問題ございません。

以上の報告があった後、議長が本件についての意見、質問がないことを確認し挙手により賛否を諮った結果、議長を除き賛成 41 名、反対 0 名で原案通り承認された。

5)報告事項
＜第 1 号報告　令和 7 年度事業計画報告の件＞
議長の指示に従い、添付の通常総会議案書に基づき、第1号報告　令和 7 年度事業計画書について中川事務局長、業務担当執行理事及び各部会長から報告があった。
1. 会議　1)総会 2)理事会 2.委員会 1)事業執行連絡委員会について中川事務局長より報告があった。
3. JATET 部会計画は、各担当部会長より報告があった。
1)教育研修部会　　西村 智司 部会長
2)建築部会　　戸田 直人 部会長
3)機構部会　　小塩 英彦 部会長
4)照明部会　　役野 善道 部会長
5)音響部会　　結城 芳弘 部会長
6)映像部会　　平井 哲史 部会長欠席 代理 川上 二郎副部会長
7)広報部会　　古橋 祐　部会長欠席 代理 中川事務局長

4. JATET フォーラムについては、西村副会長より報告があった。
5. 国際交流については、小川幹雄執行理事より報告があった。
6. 国内交流 7.発刊物については中川事務局長より報告があった。
＜第 2 号報告　令和 7 年度収支予算報告の件＞
議長の指示に従い、添付の通常総会議案書に基づき、第 2 号報告　令和 7 年度収支予算について中川事務局長から説明があった。
質疑事項：意見あり。
・JATET 誌販売費用の備考に「公益事業化を目指すにあたり無償化」と記載があるが、公益事業化を目指すことはしないことになったはずではないのか。（西村副会長）
・削除することになっていたが、消し忘れである。公益事業化を目指すことは、委員会等で議論してきたが、公益事業化は目指すことはしないという結論になっているので削除する。（中川事務局長）
・国土交通省から JATET が主催となってガイドラインを作成してほしいという要望がある。人的資源も提供しなくてはならないが、様々な事務費用が発生する。予算の手立ての一つとして特定費用準備資金を充てることとし、今年度は会員の増強を図らなければならないと思っている。（西執行理事）

その他
・国土交通省から JATET が主催となってガイドラインを作成することは公益事業となると思っている。
（西執行理事）

6)会長挨拶
無事に総会議案の第 1 号議案から第 2 号議案まで全て可決承認された。
また、令和 7 年度事業計画書、収支予算についても報告させていただいた。
議案書 117 ページの会員数推移をみると JATET 組織が 1990 年に設立され、色々な活動をしてきた。会員数も近年はそれほど増えているわけでもなく、活動自体も公益社団法人であるが公益事業の割合がなかなか伸びていない点がある。会員であるメリット、協会のメリットを如何に伝えていくのか、そのためには部会の活動をより活発にしていくこと、また、さらに部会を超えた活動をしていくことが必要である。また、技術面で運営などに関連する団体と連携し強化をすることによって、JATET が果たすべき役割が出来るようになるのではないかと考えている。

7)閉会
15 時 21 分中川事務局長が閉会を宣言し終了した。
以上

令和７年 5 月 30 日
上記議事録を明確にするため、議長（代表理事）、監事及び議事録作成署名人は次に
署名捺印する。

公益社団法人　劇場演出空間技術協会
令和７年度通常総会

役職	署名	捺印
議長（代表理事） 伊東 正示	伊東正示	印
監事 尾澤 輝行	尾澤輝行	
監事 間瀬 勝一	間瀬勝一	印
議事録作成署名人 横井 裕	横井 裕	
議事録作成署名人 湯澤 薫	湯澤薫	